

Rina's Dream

1988
作品ナンバー-0285

[リナの夢]

発展途上国では、いまだに多産や不衛生な環境のために乳幼児の死亡率が高い。その中で今日も小さな子供の棺が運ばれていくある村を舞台に、人間的な家族計画の理念をわかりやすく説いたこのアニメーション映画は、国井長次郎がアフリカのタンザニアで出会った土地の産婆に感動して書きおろした原作をもとに作られた。



アニメーション
35ミリ
カラー／20分
英・ネパール・ベンガル語版

■企画
(財)家族計画国際協力財団

スタッフ

- 原作・脚本
国井長次郎
- 製作
村山英治
- 演出
今沢哲男
古川政美
- 撮影
玉川芳行
- 作画
香西隆男
- 音楽
杉田一夫
- 編集
西山 茂
- 解説
イアン・ド・スティ
ンズ (英語版)

多産や不衛生な環境でつぎつぎと子供たちが死んでいく村で、心優しい助産婦のリナは、自分を取り上げた子の中で元気に育っている子は白豆、死んだ子は黒豆と2つの瓶にいれて、子らを偲んでいる

今日も、小さな葬列がリナの家の前を通る。すると、白豆の瓶の1粒が黒豆に変わる。泣き濡れて眠りに入ったリナは、夢の中で黒豆の国へ行き、幼くして死んでしまった子供たちに迎えられて一緒に遊ぶ。

やがて、この黒豆たちの願いは、村の助産婦リナの心を通して現実の村の生活の中で実現していく。子供が死なないような村づくりをめざして、村の人たちの参加による保健活動が始まった。